



# 学校だより



12月号

令和4年11月30日  
横浜市立善部小学校  
校長 福田 美穂

## ふれあいが伸ばす力

校長 福田 美穂



おかげさまで今年度は、行事が計画通りに行えています。3年ぶりとなる『全校遠足』も6年生のリーダーシップの元、スマイル班（学年縦割り班）ごとに低学年の様子を気遣いながら、歩いてこども自然公園に行きました。楽しく遊んだりともにお弁当を食べたりと、みんなのびのびと笑顔で活動し充実した時間となったようでした。

実は全校遠足の準備は、ZSFの練習をしているところから始まっていました。6年生は最高学年として踏ん張りを見せ、両方を見事にやり遂げました。6年生が丁寧に準備していることを下学年もしっかりと感じており、協力して楽しい一日にしようとの思いが高まっていたのです。普段学級の中では見られない児童の表情をとらえた担任や他職員も、うれしい気持ちでいっぱいでした。みんなで幸せな時間が過ごせたなと感じています。善部小の子どもたちのよいところが全部見られた全校遠足でした。都合をつけ、子どもたちの見守り等していただきました学校協働運営協議会並びにPTA本部の皆様、ありがとうございました。

また今月は、200mハードルで「アジア最高記録」「日本最高記録」を樹立した秋本 真吾さんをお招きし、5年生に技を見せてもらったり、夢をかなえる秘訣を教えてもらったりしました。

「努力をすれば夢がかなう」とはいかないことがあるけれど、「努力の仕方によって結果は変わる」ということをご自身の経験をもとに熱く語られていました。トップアスリートであっても、悩みやあきらめ、羨望は、もちろんあったそうです。秋本さんの話に大きくうなず

く子、自分の夢を堂々と語る子、努力の内容を一生懸命吟味している子の姿がありました。活動と講演との2時間は、子どもたちにとってあっという間の時間だったでしょう。これを機会に自分のよさを伸ばす気持ちがさらに高まってくれることと期待しています。

さらに今後、北京・東京両オリンピックのソフトボールで金メダルを獲得した峰 幸代さんにも来校いただき、高学年に夢、将来に向けた行動などについて話していただく機会を設けています。今年度は、外部からの講師をお招きして学習する活動を多く取り入れています。日常を大切にしながらも、多くのふれあいを通して、子どもたちの琴線に触れる学習となればと考えております。

今年も保護者、地域の皆様の学校教育へのご理解とご協力のおかげで、長引くコロナ禍でも健やかに過ごせました。本当にありがとうございました。よいお年をお迎えください。

